

第13回県民公開講座 第91回会員研修会

2月24日(日)午前9時30分から午前10時15分まで会館講堂にて、「大規模災害時、避難所におけるエコノミークラス症候群の予防体操」として、第13回県民公開講座(第91回会員研修会)が、184名の会員参加のもと開催された。事業部が県民公開講座を初めて主催して、小林事業部長と河合一弘事業部員が講師を務めた。

森川会長は挨拶にて、「災害はいつ起こるか分からない。本会には多くの市町と災害協定を結んでいる。会員の皆様にはいつでもどこで活躍していただく必要がある分からない。しっかり研修して地域の中でもしっかり活躍して欲しい」と述べた。

続いて、小林事業部長が災害救護と愛整会の関りやエコノミークラス症候群の概要・症状・予防を中心に講義を行った。

さらに、厚労省が推奨するエコノミークラス症候群を予防するための足の運動と椅子を使った事業部オリジナル運動について、河合事業部員が説明と指導を行い、小林事業部長と石川真事業部員が助手を務め正面舞台上で運動を実演した。

最後に小林事業部長は、水分補給の重要性、4時間程度で血栓ができること、長時間の同じ姿勢や特に車中泊の座位での睡眠を避けること、運動の大切さなどの注意事項を強調して講座を締めくくった。



柔整療養費取扱い研修会開催

2月24日(日)、第13回県民公開講座に引き続き、会館講堂にて第1部(午前10時35分から午後0時30分)、第2部(午後1時から午後3時00分)の2部制で、森川会長、藤川副会長、山口保険部長が講師を務め、愛知県柔道整復療養費取扱い研修会が開催された。第1部は252名、第2部は43名、合計295名の会員が参加した。

今回の開催にあたっては、少しでも会員の利便性を図るために、①駐車場がないので県民公開講座との同日開催とし来館の手間を省く②2日間に分けての地区別開催が煩雑なので同日午前と午後の2部制とする③平日午後の開催では時間的制約があるため時間的余裕がある休日開催とすることとし、初めて実施した。

森川会長は挨拶の後、実現した教育改革・制度改革の概要、医科との併給問題に対する今後取り組むべき課題、柔整療養費の今後について詳述した。藤川副会長は、労災保険取扱いの注意事項について説明した。山口保険部長は、返戻申請書に対する保険部の取り組みについて報告した。



Welcome!! 新入会員

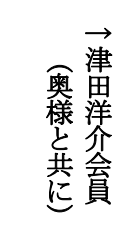
氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
渡辺 裕介	S59.5.2	熱田	中和医療	—	テニス・カラオケ
笠井 勇佑	S61.7.14	笠寺	米田柔整	—	ソフトボール
津田 洋介	S57.8.25	中村	横浜医療	—	旅行



← 渡辺 裕介 会員



← 笠井 勇佑 会員



→ 津田 洋介 会員



(奥様と共に)

第31回機能訓練指導員実務研修会(第14回フォローアップ講習会)

3月3日(日)、午前10時30分から午後0時15分まで、本会会館3階講堂にて161名(勤務柔道整復師4名を含む)が参加して、第31回機能訓練指導員実務研修会(第14回フォローアップ講習会)が、加藤博史研修委員の司会で開催された。

森川会長の挨拶に次いで、長瀬 理次介護部長が講演し、機能訓練指導員の実状(柔整新卒者の10%は介護分野へ就労、女性に多い)、機能訓練指導員の養成を柔道整復師会が主導していきたいことを述べ、訓練の目的・内容(機能訓練は施術ではない)や現在14市4町で約270名の会員が参加していること、各市の介護予防事業の現状などを説明した。その後、名古屋市・西尾市・東海市・津島市・一宮市の参加活動状況の報告が、各市で参加している会員から行われた。

名古屋市からは、河内 保会員の代理で白川 恵三会員(熱田)が「介護予防日常生活支援総合事業・緩和A(ミニデイ型)」と題し報告した。

西尾市からは、中村 充会員(刈谷)が「西尾市の新総合事業ミニデイ型サービスについて」と題し報告した。

東海市からは、佐野 恵会員(半田)が「東海市新総合事業活動報告」と題し発表した。

津島市からは、水谷 文彦会員(中村)が「津島市の一般介護予防事業転倒予防教室 平成19～」と題し報告した。

一宮市からは、内田 栄治会員(一宮)が「介護予防日常生活支援総合事業・成功事例発表いきいき訪問(一宮市訪問型機能訓練)」と題し報告した。

報告終了後、今回発表した5市の会員と森川会長、長谷川副会長、名古屋市介護予防事業会代表として倉橋健司会員(笠寺)が参加し「柔道整復師と介護分野について」と題し長瀬介護部長が各出演者に質問する形で公聴会が行われ、森川会長は、機能訓練協会設立の動きの現状を述べた。また発表者は、現状や今後の展望、請求方法などを答えた。



日整社団法人設立65周年記念式典・柔道整復術公認100周年記念祝賀会

3月7日(木)午後1時から、パレスホテル東京にて日本柔道整復師会社団法人設立65周年記念式典が開催され、200余名の会員が全国から参加した。本会からは日整理事として森川会長と、本会を代表して藤川・長谷川両副会長と早川総務部長が出席した。

表彰式では、森川会長が厚生労働大臣表彰として柔道整復業務功労者と労災補償行政関係功労者の2つの表彰を受け、後者において受章者代表で賞状を受け取った。藤川・長谷川両副会長は日整会長表彰を、同じく早川総務部長は日整会長感謝状を受けた。なお、本会会員では日整感謝状は4名、永年業務精励会員表彰では60名が受賞した。

午後4時から6時30分までは、柔道整復術公認100周年記念祝賀会が政官界などから多くの来賓をお招きし、総勢約420名が参加して盛大に行われた。(副会長 長谷川貴一)

